

こんなにカンタン!

DX はじめの一步

業務効率化につながるとして話題の「DX(デジタルトランスフォーメーション)」。
DXのはじめの一步として、カンタンで取り組みやすい「デジタル導入事例」を紹介します。

WebKIT活用編

WebKITとは、インターネットを利用したトラック協会会員事業者のための「求荷求車情報ネットワークシステム」です。
「帰り荷や備車の確保」「積み合わせ輸送」など事業者同士の経営資源を共有し、輸送効率を高められます。

Step1

自社の情報を登録

インターネットを利用して、荷物を依頼する側と車両を活用したい運送側が、それぞれ情報登録を行います。「ブラウザ版(PC用)」と「アプリ版(スマートフォン用)」があるので、いつでもどこでも利用可能です。

Step2

荷物・車両を探す

各種条件を入力し、全国のどこにどのような荷物や車両があるのかを検索します。地図機能を使えば、積み降ろし地点が一目瞭然。成約は当事者間で直接連絡を取り合い、条件を確認・調整した上で結ばれます。

Step3

保険でリスクを回避

ネットワーク取引でポイントになるのが、補償制度の有無です。WebKITでは、荷物の破損事故に備えた「荷物保険」と、組合員の倒産などに備えた「運送代金補償」の加入が義務付けられており、取引上の信用が確保されています。

メリット1

高い利便性と機能で、効率よく検索が可能

荷物の積み降ろし地や車両の空車状況などが地図上から確認できるので、土地勘がなくても経路に合う情報が得られます。また荷姿や車両形状など伝えにくい情報は画像で共有することができ、さらにスマートフォン専用アプリで外出先でも利用することができます。



メリット2

安心できるネットワーク取り引きで不安解消

ネットワークを介した取り引きの場合、最も重要なのは相互の信頼関係の確保です。WebKITには優良な事業者が多く参加している上、万一の場合でも、協同組合同士で全責任を負う仕組みができており、安心して利用できます。

メリット3

経営資源を共有・補完し合い、輸送効率を向上

運送事業者にとって、帰り荷の確保や季節変動への対応は常に悩みの種になっています。事業者同士が相互に手を結び、仕事や車両などの経営資源を共有・補完し合うことで輸送効率の向上が可能です。

WebKITについて詳しくは、こちらから



今後もカンタンで取り組みやすい「デジタル化事例」を紹介していきます。